

概要版

第2期 阿久比町国民健康保険 データヘルス計画



平成 30 年 3 月

阿久比町

計画策定の趣旨

近年の健康づくりは、これまでのように個人の生活習慣の改善にのみ着目する考え方ではなく、個人と社会との関係性の中で捉える考え方が多くなってきています。そのため、個人だけでなく、地域の組織や企業なども含めた多様な主体の参加が必要とされてきています。被保険者のライフスタイルの多様化や地域の特性などをふまえた、多様な施策が必要とされてきています。

効果的な取り組みを継続するために、地域の現状や施策の結果等を「見える化」する必要性が高まってきました。そのため、国保データベースシステムの整備をはじめ、健診の結果や医療の受診状況等のデータを活用できる基盤整備が進んできています。これらのツールを有効に活用しながら、地域の環境に応じた効果的な取り組みを進めていくための計画として、データヘルス計画を策定しています。

計画の位置づけと期間

この計画は、健診や医療の受診情報等を活用して本町の健康課題を把握し、その解決のための効果的な施策を立案し、実行し、その結果を検証して新たな取り組みにつなげるための計画として策定します。

この計画は、平成 30 年度から平成 35 年度までの 6か年計画です。

計画の体系

＜阿久比町の健康課題＞

1

特定健診の受診を中心とする健康づくり

2

健診結果を活用した健康づくり

3

医療費の適正化

＜施策の方向＞

①特定健診の受診率向上

②特定保健指導の実施率向上

①阿久比町の現状や健康課題の周知と啓発

②健診結果を活用した健康づくりの推奨

③「健康日本 21 あぐい計画」の推進

①生活習慣の改善

②疾病の早期発見・早期治療の推奨

③健康教育等の充実

I 特定健診の受診を中心とする健康づくり

●現状と課題

特定健診の受診率が目標に達していない

平成 28 年度の特定健康診査（以下、特定健診）の受診率（50.5%）は、町が掲げた目標値（57.5%）に達していません。特に、40 歳代から 50 歳代での受診率が低くなっています。

特定保健指導の実施率が低下傾向

平成 28 年度の特定保健指導実施率（41.2%）は、町が掲げた目標値（53.0%）に達しておらず、また、平成 26 年度（53.7%）以降低下傾向にあります。

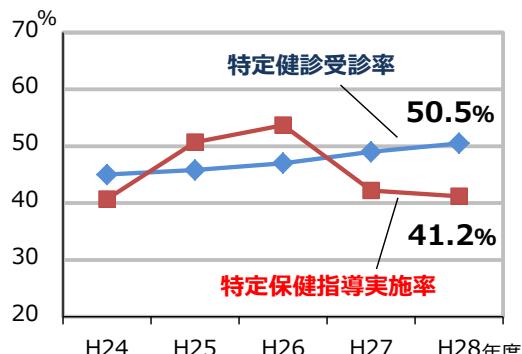
およそ 2.8 人に 1 人は、5 年間未受診

最近 5 年間に 1 度も特定健診を受診していない人（35.3%）は、およそ 2.8 人に 1 人の割合となっています。

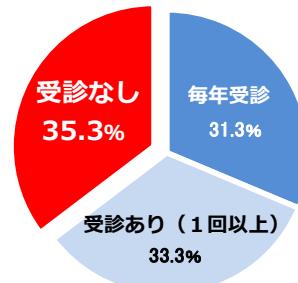
健診未受診者ほど、医療費が高い傾向

健診受診者よりも未受診者のほうが 1 人あたりの年間医療費が高い傾向がみられ、特に男性の 50 歳代後半および 60 歳代前半で両者の差が大きくなっています。

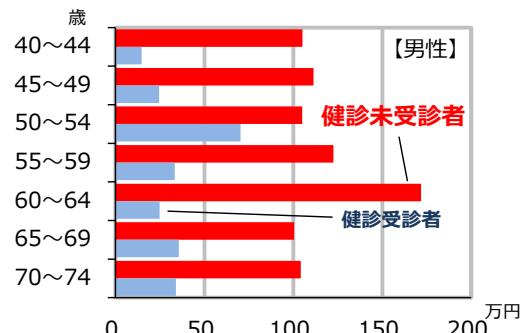
●特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移



●特定健診の毎年受診の割合 (H24~28 年度)



●1人あたりの年間医療費 (男性、H28 年度)



●施策の方向

①特定健診の受診率向上

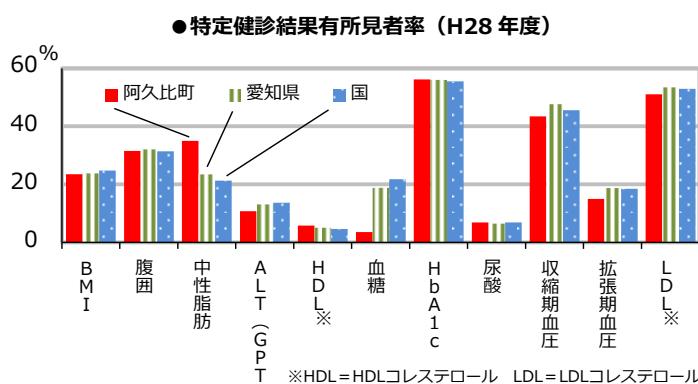
②特定保健指導の実施率向上

2 健診結果を活用した健康づくり

●現状と課題

有所見率が高いのは、「中性脂肪」「HbA1c」「HDLコレステロール」

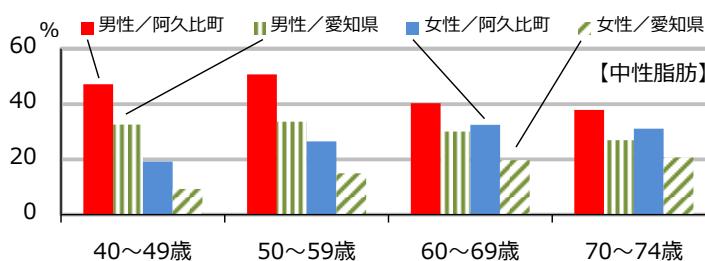
特定健診の結果、有所見率が国や県平均よりも高いのは、「中性脂肪」「HbA1c」「HDLコレステロール」です。



男性で、中性脂肪の有所見率が高い

男性は、中性脂肪の有所見率が高く、特に、40歳代、50歳代の男性で多くみられます。阿久比町では、40歳代から50歳代男性のメタボリックシンドロームの解消が課題であると考えられます。こうした現状は、高血圧性疾患や糖尿病等の慢性的な生活習慣病の罹患に直結する可能性が高く、早期に予防していくことが必要です。

●特定健診有所見者の状況（中性脂肪、H28 年度）



健診結果を活用した健康づくりが必要

特定健診の結果に基づく特定保健指導の実施率が低下傾向にあることから、健診結果をその後の健康づくりに活用できていない方が多いと想定されます。

●施策の方向

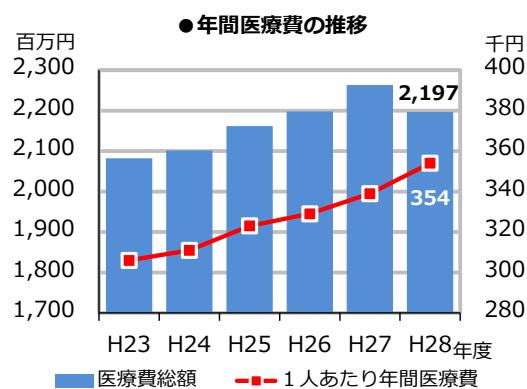
- ①阿久比町の現状や健康課題の周知と啓発
- ②健診結果を活用した健康づくりの推奨
- ③「健康日本21あぐい計画」の推進

3 医療費の適正化

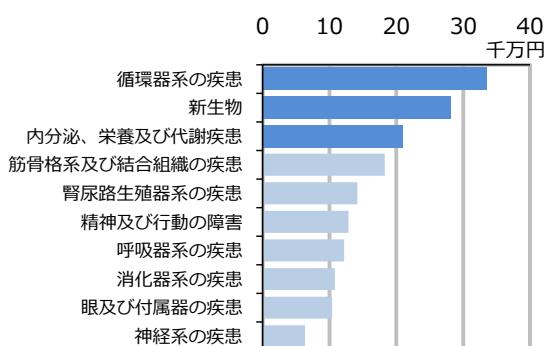
●現状と課題

阿久比町の医療費は増加傾向

阿久比町の医療費は年々増加しており、疾病別医療費では「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」などの医療費が高く、生活習慣病による医療受診が多いものと考えられます。



●疾病大分類別医療費順位 10 分類 (H28 年度)



男性では「新生物」が増加、男女ともに「循環器系の疾患」が多い

疾病大分類別でみた、性別 40 歳以上の成人の医療費（点数）の推移では、男性の「新生物」が顕著に伸びており、男女ともに「循環器系の疾患」の医療費が高くなっています。

生活習慣病の予防や重症化予防が必要

「循環器系の疾患」や「新生物」などの生活習慣病は、生活習慣の改善などを通じて予防する取り組みが大切です。生活習慣の改善に必要な知識や情報を身につけるための教育等の充実が必要です。また、健診等で治療が必要とされた場合などは早期に治療を受けることを推奨する等、重症化を予防するための情報提供や啓発も必要です。

●施策の方向

- ①生活習慣の改善
- ②疾病の早期発見・早期治療の推奨
- ③健康教育等の充実

保健事業の実施計画

事業名	中目標	事業の目的	事業の概要
特定健診 (集団検診)	特定健診受診率と特定保健指導実施率の増加	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目し、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する。	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目し、生活習慣病予防のための健康診査を勤労福祉センターや各地区小学校で集団方式により実施。
特定健診 (個別健診)			内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目し、生活習慣病予防のための健康診査を町内医療機関で個別方式により実施。
特定健診未受診者対策		特定健診受診率の向上に、自身の健康状態の把握、健康保持増進につなげること。	40歳から74歳までの特定健診未受診者にハガキ等にて勧奨を実施。
特定保健指導 (積極的支援) (動機付け支援)		生活習慣病の発症及び重症化を予防し、医療費延伸の抑制を図る。	メタボリックシンドロームの改善を目的に着目した健康診査を実施し、その結果から抽出された、特定保健指導の対象者に対して実施。
脂質異常症いろは教室	メタボ削減	脂質異常症の基本について学び、食事や運動での改善を図る。	対象者に通知勧奨を行い、講義と運動指導による教室を開催。
血糖改善教室		運動、医療、栄養、歯科の四部門から血糖値改善を図る。	対象者に通知勧奨を行い、8日間の教室を開催。
人間ドック、脳ドック助成事業	生活習慣病重症化予防	人間ドック、脳ドックを実施することにより、より詳しい健康状態の把握を行い、生活習慣病や疾病を早期発見する。	満40~74歳の申請者に対して、人間ドックまたは脳ドックの自己負担額の半分を補助する。
健康まつり		健康に関する幅広い知識を普及し、自分のライフスタイルに合った健康法を考え実践する。	保健センターに、歯や身体や栄養に関するコーナーを設け、検査やチェックを行い、健康に関する正しい知識を普及する。
各種検診事業		胃、大腸、乳、子宮頸部、前立腺がん及び骨粗鬆症の予防と早期発見。	健康増進法、がん対策基本法に基づき、各種がん検診及び骨密度検査の実施。
医療費通知	疾病等医療費の削減	自身の医療受診状況を確認していただき、医療機関の請求金額の誤りや重複受診等を防止し、医療費の適正化を図る。	2か月に1回通知。
ジェネリック啓発普及運動		ジェネリック医薬品の普及による、医療費の削減を図る。	国保新規加入者に、窓口でジェネリック希望表示カード等を手渡し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
ジェネリック医薬品の差額通知		医薬品・調剤料の自己負担を軽減するとともに、医療費の削減を図る。	ジェネリック医薬品に切り替えた場合の医療費を年4回通知する。
健康体操	健康増進介護予防	親しみを持って日頃から取り組める健康体操を普及し、健康づくりや介護予防を推進する。	講師が、保健センターにて、週1回、健康体操を実施。

担当課	対象者			実施計画と目標	
	性別	年齢	対象者	方向性と目標	事業成果
住民福祉課 健康介護課	男女	40～74歳	4月1日時点の国保加入者	特定健診受診の促進 ・特定健診受診率 60.0%（H35年度）	自身の健康状態の把握
住民福祉課 健康介護課	男女	40～74歳	4月1日時点の国保加入者		新規、継続受診率の向上
住民福祉課 健康介護課	男女	40～74歳	特定健診受診券送付者のうち特定健診を受けていない方		
住民福祉課 健康介護課	男女	(積極的支援) 40～64歳 (動機付け支援) 40～74歳	特定保健指導対象者	特定保健指導実施率 積極的支援 48.1%（H35年度） 動機つけ支援 <40～64歳>52.9% <65～74歳>69.1% (H35年度)	メタボから脱し、生活習慣病の重症化予防
健康介護課	男女	70歳未満	①、②、③のどれかまたは複数に該当する方 ①LDLコレステロール140mg/dl以上 ②HDLコレステロール40mg/dl未満 ③中性脂肪150mg/dl以上	各数値を基準値に近づける	脂質に関する意識向上、数値の改善
健康介護課	男女	70歳未満	HbA1c6.0%以上の方	糖尿病予備群の減少	血糖に関する意識向上、数値の改善
住民福祉課	男女	満40～74歳	国民健康保険加入者	継続実施	自身の健康状態の把握
住民福祉課 健康介護課	男女	全年齢	全町民	継続実施	生活習慣改善意欲の向上
健康介護課	男女	各検診の定めによる	各検診の定めによる	継続実施	自身の健康状態の把握
住民福祉課	男女	全年齢	国民健康保険加入者	継続実施	自身の医療受診行動と医療費の確認・理解
住民福祉課	男女	全年齢	国民健康保険加入者	継続実施	薬剤料の減少
住民福祉課	男女	全年齢	国保加入者でジェネリック医薬品に切り替えると300円以上安くなる方	差額通知の配布 (4回/年)	薬剤料把握によるジェネリックへの切り替え促進
住民福祉課	男女	全年齢	全町民	健康体操の実施 (1回/週)	主体的な健康づくりへの取り組みの推進

● 計画の推進

■ 計画の評価と見直し

本計画において分析・整理した本町の健康課題については、計画の最終年度にその実績を評価し、改善状況や継続すべき課題等について整理します。その結果を踏まえて、次期計画の見直し等を行います。

また、計画の期間中においても、目標の達成状況や事業の実施状況等の変化により見直しが必要となった場合には、見直しを行います。

■ 計画の公表・周知

本町の国民健康保険加入者をはじめ、すべての町民がこの計画に関心を持ち、皆で健康づくりを進めていく環境につなげるため、この計画を町のWebサイトに掲載して公表します。また、この計画を修正した場合には内容を速やかに公表し、周知します。

■ 関係部署との連携

本計画の実施、評価や見直し等については、健康増進法及び介護保険法に基づく保健事業を担当する関係各課が連携し、共通認識を持って事業を推進します。

■ 個人情報の保護

この計画の実行や評価には、多くの情報を用います。事業の遂行にあたっては、阿久比町個人情報保護条例をはじめ、個人情報に関する法律やこれに基づくガイドライン等を踏まえて行います。

また、保健事業に関する委託を行う場合には、委託先に対して個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等について契約書に定めるとともに、その徹底を求めます。

第2期 阿久比町国民健康保険 データヘルス計画 [概要版]

平成30年3月

発行・編集：阿久比町民生部住民福祉課

〒470-2292

愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50

TEL：0569-48-1111 FAX：0569-48-0229